

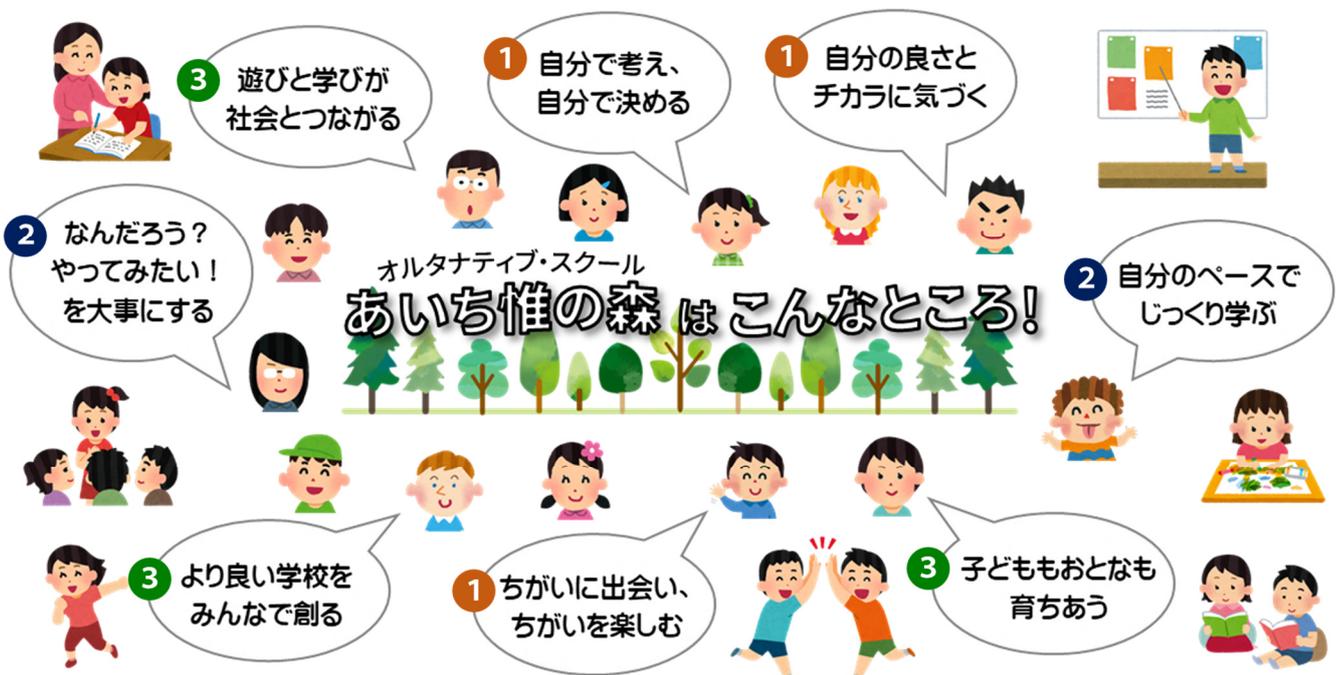
教育課程

1-1. 学校の基本理念

◇ 基本構想で定めた基本理念が実現できる学校をめざし、カリキュラムを計画します。

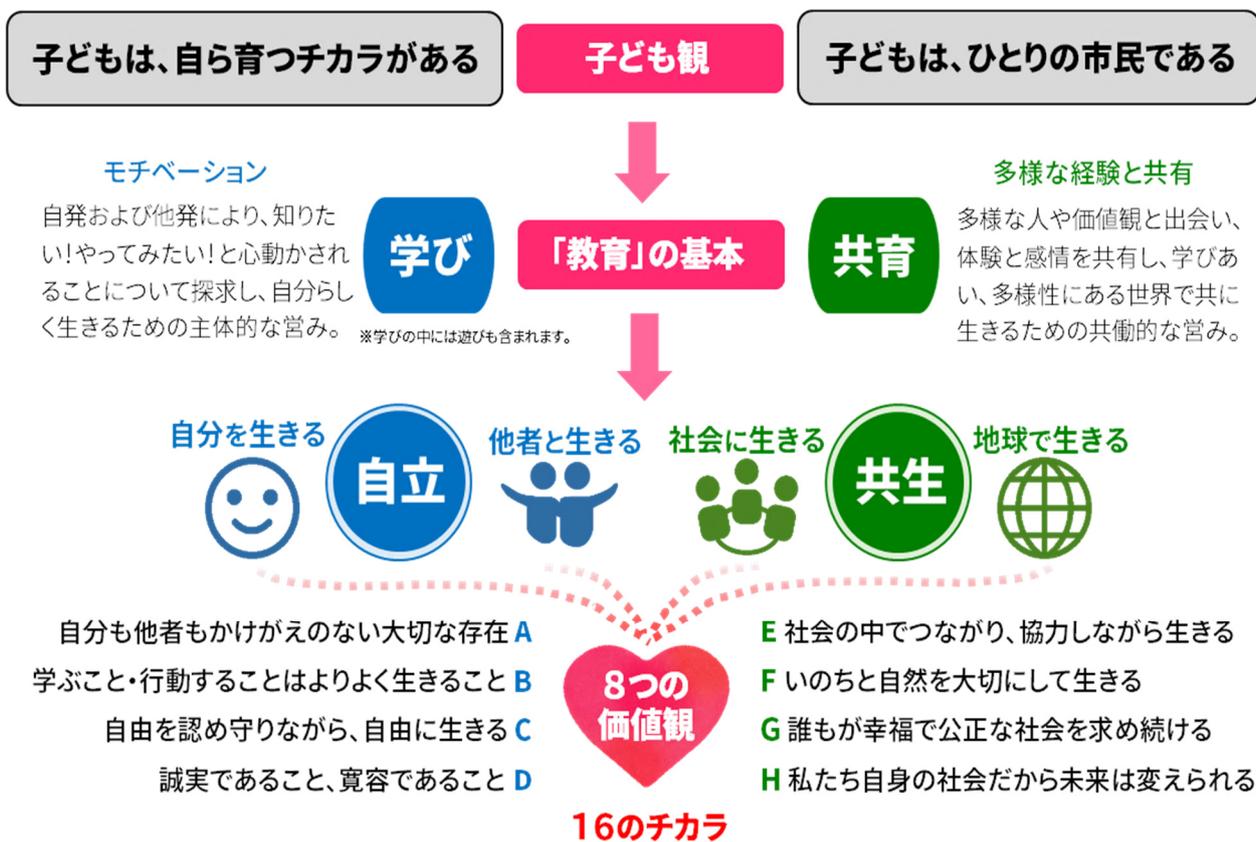


◇ 基本構想を平たく言うと、次のとおりとなります。※番号は主に対応する基本理念。



1-2. 子ども観、「教育」の方針、育みたい価値観とチカラ

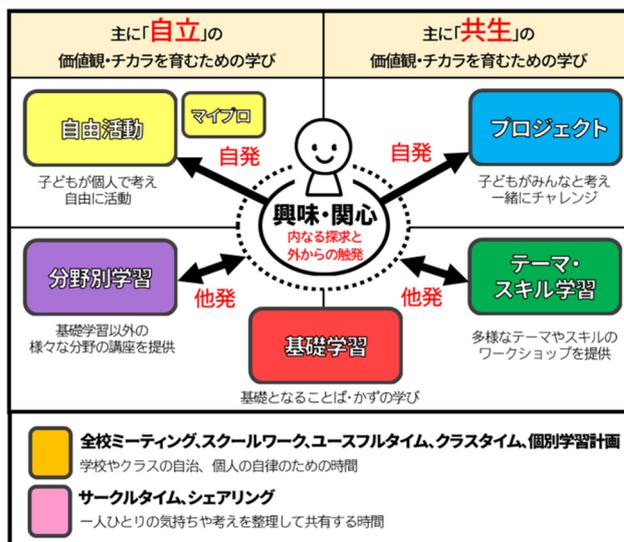
- ◇ 「教育」のあり方は、子どもがどんな存在だと考えるか、つまり「子ども観」によって大きく変わる。この学校では、以下のような「子ども観」に立つ。また、子ども観を踏まえ、子ども自身による主体的な「学び」と、子ども同士や子どもと周りのおとなによる「共育」を、「教育」の基本とする。
- ◇ また、中学校卒業時に一人ひとりの子どもたちに育まれているとよいと願う価値観（概念・意識）とチカラ（技術・態度）は、以下のとおり。子どもにはそれぞれ個性や持ち味があり、もちろん価値観やチカラは一人ひとり多様であってよいものである。しかし、ここに掲げる価値観とチカラは、学校の基本理念を実現するため重要で、子どもたちの『自立と共生』のチカラを育むために大切であり、どの子どもにも共通して育てていく。



① かけがえない自分のことを大切にする	⑤ 学び方を学び、主体的に必要な学びを行う	⑨ 社会を構成する市民という意識を持つ	⑬ 環境の多様性・相互依存性・有限性に配慮する
② 自分で考え、感じ、自分のことば等で表現する	⑥ アサーティブに気持ちや考えを伝える	⑩ 様々な場で他者と対話し、合意し、協力しあう	⑭ 情報を多面的・批判的に捉え、公正な判断をする
③ 知りたいことや考えたいことを探求する	⑦ 文化や価値観の多様性を受容する	⑪ 対立は悪くないと考え、対立を建設的に解決する	⑮ 人々の願いにあう新しい価値や変化を創造する
④ 願いを持ち、失敗もOKでチャレンジする	⑧ 他者を思いやり、人権を尊重する	⑫ 自然といのちの尊厳を実感し、大切にする	⑯ 課題の解決や望む未来の実現のために行動する

1-3. 小学部のカリキュラム要素

◇ 「基礎学習」、「テーマ・スキル学習」、「プロジェクト」、「分野別学習」、「自由活動」を、カリキュラムの主要5分野と位置づけ、自発と他発の学習を包括的に組み合わせ、「学び」と「共育」を実施する。



◇ 主要5分野を含め、下表の12のカリキュラム要素で、全体のカリキュラムを構築する。

カリキュラム要素		概要
主要5要素	① 基礎学習	学びと共育の基礎となる知識と見方・考え方を育む。小学部は「ことば」(国語)、かず(算数・数学)を自律的に学ぶ。
	② テーマ・スキル学習	人権・環境・多文化理解・共生・平和など、学ぶべき社会的・総合的なテーマを参加と体験を通して学び、わたし・あなた・みんなに関わるスキルを育む。
	③ プロジェクト	子どもの自己選択・自己決定により、目的の達成に向けて仲間とともに計画を立て、地域で様々なことにチャレンジする。主体性、対話と協力の手カラを育む。
	④ 分野別学習	基礎学習以外の学習分野について学び、体験し、追求する。校外に出て様々な分野を視察する。芸術、生活・家庭、音楽、体育、理科、社会等にも関わる学習。
	⑤ 自由活動 マイプロ	一人ひとりの「知りたい!」「やってみよう!」が芽生え、追求するための自由な遊びや自主的な活動の時間として設ける。その内容に応じたサポートを行う。
⑥ 個別学習計画	子どもが1週間の学習計画を主体的に立て、1週間のふりかえりを行う。月期、学期、年度の節目にも目標立てやふりかえりを行う。	
⑦ サークルタイム	自分を表現し、知り合い、ふりかえるための時間を毎日の朝と帰る前に確保する。	
⑧ シェアリング	各自が学んだことを発表・共有する機会を設ける。	
⑨ クラスタイム 全校ミーティング	子どもとスタッフによる学級自治をめざしたクラスタイム、学校自治をめざした全校ミーティングを行う。	
⑩ ユースフルタイム	学校の心地よい環境を維持し、よりよくするため、一人ひとりが役割を持ち、毎日少しずつ貢献する。掃除や片付け、修理、花の世話など。	
⑪ スクールワーク	クラス横断型でチーム(係)を作り、学校をより良くする活動。現在、畑、環境、広報、寄付チームがある。	
⑫ 年間行事	入学式、卒業式、文化祭、運動会、お祭りなど各種催しや修学旅行。子どもたちと一緒に創る毎年恒例の行事。	
遊び	子どもの育ちに欠かせない「遊び」を1日の中(ブレイクタイム、お昼休み等)、1週間の中(自由活動)で、その時間を保障する。	

1-4. 小学部の時間割

- ◇ 学習活動の開始は9:00、終了は15:20。午前3時限、午後2時限で構成される。
- ◇ 但し、水曜日の終了は12:30とする（午後の時間は、一定のルールの下、生徒は学校施設を利用できる。）。
- ◇ 「基礎学習」は、月曜日から金曜日まで毎日、1限と2限に行く。1週間あたりの学習時間は、45分×10コマ=450分である。月曜の1限を「読書家の時間」として全校で書に親しむ時間とする。
- ◇ 「自由活動」（月曜日）、「分野別学習」（火曜日）は、各曜日の3~4限135分で行う。「マイプロ」は計画的に行う個人プロジェクトで、生徒によっては自由活動をマイプロとして使う。
- ◇ 「テーマ・スキル学習」と「プロジェクト」は、木曜日の2~4限に135分、まとまった週で交代して行う。
- ◇ 個人レベルの週間のふりかえりと翌週の計画を立てるための時間として「個別学習計画」を金曜日5限に、学級自治の時間「クラスタイム」を水曜日3限に、学校自治の時間「全校ミーティング」を金曜日3限に、金曜日のうち学校をより良くする課外活動「スクールワーク」の全体共有を行う。
- ◇ 毎日朝、帰りの15分間を「サークルタイム」として、生徒の気持ちや考えを共有したり振り返ったりする時間を設ける。さらに金曜日の4限に学びの成果を発表する時間「シェアリング」を行う。
- ◇ 毎日の始まりと終わりには、表現・対話、ふりかえりの時間として「サークルタイム」を15分ずつ設ける。
- ◇ 活動の最後には「ユースフルタイム」（掃除や環境整備等の時間）を15分行う。
- ◇ 午前中の1,2限の基礎学習で集中した後に、自由に遊び休むことができる20分間の「ブレイクタイム」を、お昼休みも70分間確保し、昼食後に十分に遊び休むことができるようにする。

曜日		月	火	水	木	金
時間						
	9:00~9:15 [15]	朝のサークルタイム				
1限	9:15~10:00 [45]	基礎学習 (読書家の時間)	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習
2限	10:10~10:55 [45]	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習
	10:55~11:15 [20]	ブレイクタイム				
3限	11:15~12:00 [45]	マイプロ	プロジェクト	クラスタイム	プロジェクト テーマ・スキル	全校ミーティング (スクールワーク)
	12:00~13:10 [70]	昼休み		サークルタイム ユースフルタイム	昼休み	
4限	13:10~13:55 [45]	自由活動	分野別学習	12:30 終了	プロジェクト テーマ・スキル	シェアリング
5限	14:05~14:50 [45]	自由活動	分野別学習		プロジェクト テーマ・スキル	個別学習計画
	14:50~15:05 [15]	帰りのサークルタイム			帰りのサークルタイム	
	15:05~15:20 [15]	ユースフルタイム		ユースフルタイム		

1-5. 中学部のカリキュラムの要素

(1) 中学部で大切にしたい3つのこと

<p>① 自己の省察と未来デザイン [= 本校の基本理念1]</p>	<p>◇自己省察…本当の自分を知るための能力、自分のことを客観的に見つめるための能力を高める。 ◇「やりたいことが見つかる。」「この人のようにになりたいというロールモデルに出会う。」「進路の方向性を考える。」中で、自分の未来は自分で決め、やりたい自分を見つける。</p>
<p>② 自主・自律の学びの探究 [= 本校の基本理念2]</p>	<p>◇やりたいことを深める。問いを立てトコトン探究する。 (4つの探究レベル^{※QRコード}のうち「オープンな探究」ができるようになる。)</p> 
<p>③ シチズンシップの発揮 (市民性) ^{※QRコード} [= 本校の基本理念3]</p>	<p>◇自分の考えをまとめて人に伝えることができる。 ◇アサーティブネス (自分も相手も大切にすること)、メタ認知 (客観視して物事を見る) で、他者やみんなと関わることができる。 ◇望む社会を創るために、学校内外の“社会”に目を向け活動する。</p> 

(2) 中学部カリキュラムの4つのウリ (アピールポイント)

キャッチフレーズ	カリキュラム要素 時間割コマ数	解説
<p>① “なりたい自分” を探究する</p>	<p>生き方探究 月・火・水・金曜 計9コマ</p>	<p>◇「知能は単一ではなく、複数ある」「人間は誰しも複数の知能を持っている。」の考え方=MI (マルチプル・インテリジェンス) ^{※QRコード}などを参考に、学ぶ内容と方法を選び、学習や活動を行うことで、個性を伸ばすとともに総合性も高める。 ◇自らの生き方を探究する活動を行う。</p> 
<p>② 学校内外の “社会に参画”する</p>	<p>全校ミーティング スクールワーク クラスタイム プロジェクト 計3.5コマ</p>	<p>◇学校内では、小学部生徒とともに学校自治ができるように、ファシリテーションやコーディネートを行う。 ◇学校外へは、様々な場や人々・社会と出会い、つながり、自分たちの学びや意見の発信、主体的に社会的活動に参画する機会を設ける。</p>
<p>③ 視野や交流を “世界に広げる”</p>	<p>英語会話 4コマ 海外研修 3年間2回程度</p>	<p>◇日常英会話ができるよう、基礎的な英文法を理解し、英会話への自信を付けることを目的に、「英語会話」の時間を多く設ける。 ◇英会話を実際に使い、様々な文化や価値観と出会うために、外国人と話し、英語圏の途上国、先進国に研修旅行する機会を設ける。</p>
<p>④ 教科ではなく “生きた教養” を高める</p>	<p>読書家の時間 テーマ探究 STEM (理数) 計5.5コマ</p>	<p>◇様々な書に出会い、知識・教養の幅を広げる。人権や環境が守られ、共生し平和な社会を創るために必要なことを探究する。 ◇STEM (科学・技術・工学・数学) 分野の総理解を通して、社会課題の解決、新しい価値や変化の創造のための考える機会を設ける。</p>

1-6. 中学部の時間割

◇ 中学部は、右図のとおり小学部より「自発」の学び
ウェイトが多くなる。

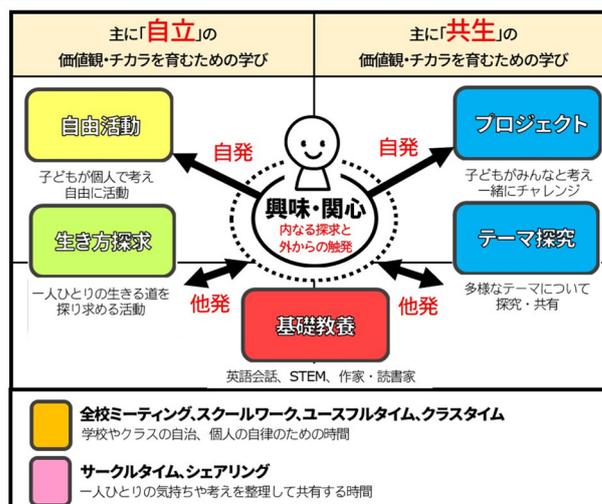
◇ 『基礎教養』として、木・金曜日の1~2限に「英語会話」4コマ、火曜3~4限に「STEM (理数)」、月曜の1限に「読書家の時間」、2限に「作家の時間」または「読書家の時間」を行う。「英語会話」は専任講師が担当。「STEM (理数)」は必要に応じて外部講師に依頼する。

◇ 「生き方探求」として、共同学習で様々な分野について学びつつ、自己を省察し、知能個性を何のために用いるのかの未来をデザインする活動を、月曜3限、火曜1、4、5限、水曜1、2、4、5限に合計8コマ行う。この中で協力者によるキャリア教育やグローバル教育も行う。

◇ 金曜日5限に「生き方探求計画」として1週間の「生き方探求」等の振り返りと翌週の計画立案を行う。

◇ 木曜3~5限は、年度前期に「プロジェクト」として全体で話し合いながら、自分たち及び社会に関わる共同活動を行い、後期に「テーマ探究」として、海外研修など共通のテーマで設定した問いについて探究する。

◇ そのほか「サークルタイム」「シェアリング」「自由活動」「クラスタイム」「スクールワーク」「全校ミーティング」「ユースフルタイム」などの時間は、小学部の活動の考え方と同様である。



時間		曜日	月	火	水	木	金
9:00~9:15 [15]			朝のサークルタイム				
1限	9:15~10:00 [45]		読書家の時間	生き方探求	生き方探求	英語会話	英語会話
2限	10:10~10:55 [45]		作家・読書家の時間	STEM (理数)	生き方探求	英語会話	英語会話
10:55~11:15 [20]			ブレイクタイム				
3限	11:15~12:00 [45]		生き方探求 (自律学習)	STEM (理数)	クラスタイム	プロジェクト・テーマ探究	全校ミーティング (スクールワーク)
12:00~13:10 [70]			昼休み		サークルタイム ユースフルタイム	昼休み	
4限	13:10~13:55 [45]		自由活動	生き方探求	昼休み[60]	プロジェクト・テーマ探究	シェアリング
5限	14:05~14:50 [45]		自由活動	生き方探求	生き方探求 (自律学習) 13:30~15:00	プロジェクト・テーマ探究	個別探求計画
14:50~15:05 [15]			帰りのサークルタイム			帰りのサークルタイム	
15:05~15:20 [15]			ユースフルタイム			ユースフルタイム	